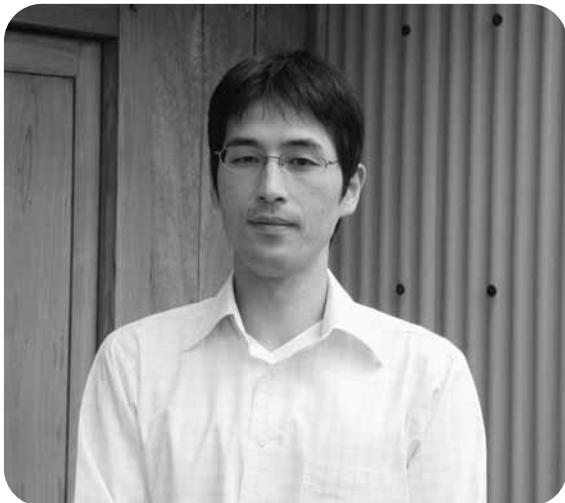


(有)中木屋本店

チャンスをつかむ!



青山 幸生さん

青山幸生さんは、以前は東京の会社で営業をされていましたが、31歳のときにUターンしました。現在の家業を継ぐようになつてから7年が経と

味噌と醤油。日本人なら毎日口にするこの二つの食材を、大正13年から長年にわたり久手町で製造・販売している(有)中木屋本店。

味噌と醤油を同じ製造元で作っていることは、珍しく、中木屋本店の新たな商品を、所々で目にすることになります。新商品の一つ、「梅みそだれ」は、今年の3月から大森地区限定で販売を開始し、卸した商品は即売という状況が続いている。

これらの新商品開発を手

掛けているのが、4代目の青山幸生さん(37歳)。青山さんは、以前は東京の会社で営業をされましたが、31歳のときにUターンしました。現在の家業を継ぐようになつてから7年が経と

多くの製造元が敬遠しているのが実状です。その中で中木屋本店は、昔からの固定客を大切にしたいという思いから、今でもその二つの商品を作り続けています。

先代の後を継いでから7年間、ひたすら前を向いて全力で走ってきたと、青山さんは振り返ります。

『梅みそだれ』は、青山さんのお母さんの作るものとともに、試行錯誤を繰り返し商品化し、ようやく納得のいく商品として完成しました。



「梅みそだれ」青梅を味噌について作っています。シンプルでさっぱり系の味です。キャベツや野菜サラダにかけてどうぞ。

「石州もろみ」国産の茄子と胡瓜が入っています。ご飯にのせてどうぞ。

「唐辛子もろみ」ちょっと珍しい唐辛子入り。モロキュウや豆腐についてどうぞ。

○梅みそだれ (630円/240g)

○石州もろみ (250円/200g)

○唐辛子もろみ (250円/200g)

○銀の醤 (500円/360ml)

有限会社 中木屋本店

島根県大田市久手町波根西350
TEL 0854-85-8501
FAX 0854-85-7386

現在、青山さんは自身の大好きなポン酢と味噌を

うとしています。東京にいるところから、お客様から

の要望をダイレクトに商品へと繋げることのできる、ものづくりに興味を持つていたそうです。

かっただろう」と話されます。何かと何かを柔軟に結び付け、お客様の要望を満たしたいという気持ちが、

新商品の開発へと繋がっています。そして、好きだからこそ“作ってみたい”といふ、青山さんの内から湧き出る情熱やこだわりが、商品を通じて消費者の皆さんにもきっと伝わるのではないか。

石見銀山の世界遺産登録は、大田市の製造業者にとって大きなチャンスです。全国各地のお客さんに商品を見てもらうことができ、大森で売れれば販路拡大が期待できます。そんな中で青山さんは、今こそやらなければという気持ちで、時間をかけ突き詰めて新商品を作り上げていこうと、日々奮闘しています。